

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、「レアル安抑制に向け、外貨準備を使用したドル売り介入の可能性も排除しない」とのトンビニ中銀総裁の発言を受け、幾分ボラティリティも緩和。一時4レアルを上回ってレアル安が進む局面も見られたが、引けにかけては落ち着きを取り戻し、3.97台後半で取引を終えた。レアルは政治危機や財政懸念を背景に、今年1年の下げ率が足許で33%にまで拡大。先週は4.25乗せを窺う時間帯が見られるなど、史上最安値を13年ぶりに更新した。FRBによる年内利上げ観測（セントルイス連銀のブロード総裁は25日、「10月会合時点で十分なデータが揃うか不明であるが、利上げの可能性はある」と発言している）といった外部要因も含め、種々の材料がレアル売りを加速させているものの、財政緊縮策の推進を巡る政府と議会の対立が深化したことで投資適格級の格付けを喪失し、2期目に突入したルセフ政権に対する海外投資家の期待が裏切られたことが最大の要因であろう。

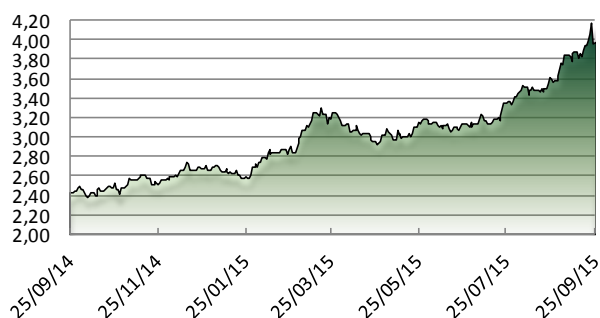
ブラジル中銀は23日に四半期インフレ報告を公表。2015年のインフレ率予想を9%から9.5%に、16年を4.8%から5.3%にそれぞれ引き上げた。しかし、中銀は景気後退の深刻化で物価上昇は抑制されると想定しており、引き続き16年終盤にはインフレ率が4.5%に収束されとの見通しを示した。なお、15年の成長率予想は従来の1.1%減から2.7%減へ大幅に下方修正された。

マーケットデータ

Indicator		Unit	9月24日	9月25日	前日比	8月25日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,9507	3,9755	+0,0248	3,6169	+0,3586
	対円	JPY	30,36	30,35	-0,01	32,88	-2,53
	対ユーロ	BRL	4,4328	4,4513	+0,0185	4,1642	+0,2871
円	対ドル	JPY	120,07	120,59	+0,5200	118,83	+1,7600
	対ユーロ	JPY	134,84	135,03	+0,19	136,87	-1,84
Bovespa（ブラジル株価指数）		Index	45.292	44.831	-461	44.545	+286
CDS Brazil 5yrs（クレジットデフォルトスワップ）		bps	475,2	487,6	+12,4	348,8	+138,8
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	16,43	15,88	-0,55	14,21	+1,67
DI Future Oct16（金利先物）		%	15,50	15,53	+0,03	14,27	+1,26
3 Months US Dollar Libor		%	0,326	0,326	+0,000	0,327	-0,001
CRB Index（国際商品指数）		Index	193,6	195,7	+2,1	187,7	+8,0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

